

施策の評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け				
政策体系	総目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
	基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード 051338
	施策	38	人権・平和施策の推進	本冊ページ 91
	関連個別計画			
担当部局		市民部、教育委員会		
施策の内容(番号)		119	～	121

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
119	人権問題や人権課題に対する市民の正しい理解と認識を深めるため、関係機関や関係団体等と連携し、総合的かつ計画的に人権啓発を推進するとともに、相談体制の充実も図り、より人権が尊重されるまちをめざします。	A	①	人権課
120	人権尊重の地域づくりの実現に向けて、市民を母体とした各種団体、関係機関等と、幅広い人権ネットワークを構築し、協働した取組を行います。	A	①	人権課
121	戦争を知らない多くの市民に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会を提供し、市民の平和意識の向上を図ります。	A	①	人権課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	A	A	A	A			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード 051338119
		施策	38	人権・平和施策の推進	本冊ページ 91
		関連個別計画			
担当部局		市民部、教育委員会			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		119	人権問題や人権課題に対する市民の正しい理解と認識を深めるため、関係機関や関係団体等と連携し、総合的かつ計画的に人権啓発を推進するとともに、相談体制の充実も図り、より人権が尊重されるまちをめざします。		

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性	
119-1	人権講演会等開催事業	津市人権講演会の開催	効	市民が人権に対する理解や認識を深める	◆ 市内5地域で津市人権講演会を開催する	◎	当初の計画どおり市内5地域で講演会を開催できた。輪番で開催地域を決めているため、人口の少ない2地域(香良洲、美里)での開催となったこともあり、参加者数が845人と前年度よりも減少した。しかし、全ての地域で開催することに意味があるため、魅力的な講師の選定等に努めながら今後も輪番で開催していきたい。
	誰		市民	◇ 参加者数	○		
人権課	何	市民の人権意識の高揚を図るための事業	1,494 (千円)	現状維持			
119-2	人権擁護委員会支援事業	人権擁護委員会活動の支援	効	補助金を活用して、人権擁護委員が人権相談や人権啓発活動等を行う	◆ 人権擁護委員協議会に対して補助金を交付する	◎	人権擁護委員は、人権相談や人権移動教室(22回)、人権作文(6,237作品)など様々な人権擁護活動を市内全域で行っており、補助金によりその活動を支援することができた。
	誰		人権擁護委員	◇ 人権相談、人権啓発活動等の活動件数(実績報告書にて確認)	◎		
人権課	何	人権相談や人権啓発活動等を行っている人権擁護委員の活動を支援するための事業	1,865 (千円)	現状維持			
119-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和6年度分)

119-4	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
119-5	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
119-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
119-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	B	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		管理コード	051338120
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現		本冊ページ	91
		施策	38	人権・平和施策の推進			
		関連個別計画					
担当部局		市民部、教育委員会					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		120	人権尊重の地域づくりの実現に向けて、市民を母体とした各種団体、関係機関等と、幅広い人権ネットワークを構築し、協働した取組を行います。				

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◇ 事業評価の主な視点	
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性	
120-1	人権擁護委員会支援事業	人権擁護委員会活動の支援	効	補助金を活用して、人権擁護委員が人権相談や人権啓発活動等を行う	◆ 人権擁護委員協議会に対して補助金を交付する	◎	人権擁護委員は、人権相談や人権移動教室(22回)、人権作文(6,237作品)など様々な人権擁護活動を市内全域で行っており、補助金によりその活動を支援することができた。
			誰	人権擁護委員	◇ 人権相談、人権啓発活動等の活動件数(実績報告書にて確認)	◎	
	人権課		何	人権相談や人権啓発活動等を行っている人権擁護委員の活動を支援するための事業	1,865 (千円)	現状維持	
120-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
120-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
120-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和6年度分)

120-5			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
120-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
120-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
120-8			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	A	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード 051338121
		施策	38	人権・平和施策の推進	本冊ページ 91
	関連個別計画				
担当部局		市民部、教育委員会			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		121	戦争を知らない多くの市民に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会を提供し、市民の平和意識の向上を図ります。		

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
	担当課		何		◇ 事業評価の主な視点	◎ 事業評価	
					決算額 (千円)	今後の方向性	
121-1	平和を考える市民の集い事業	平和を考える市民のつどいの開催	効	市民が戦争の悲惨さと平和の尊さを考える	◆ 平和を考える市民のつどいを開催する	◎	平和や戦争に関する映画を上映した。午前はアニメ映画、午後は劇映画を上映し、あらゆる世代に参加してもらえるよう工夫した。また、被爆三世による平和講話を行い、原爆の恐ろしさや非核平和について市民に考えていただく機会(入場者数319名)とすることができた。
	誰		市民	◇ 参加者数	○		
	何		市民の平和に対する意識の高揚を図るための事業	308 (千円)	現状維持		
121-2	戦争展補助事業	津平和のための戦争展実行委員会に対する補助	効	実行委員会が補助金を活用して戦争展を開催することで、市民が戦争の悲惨さと尊さについて考える	◆ 津平和のための戦争展実行委員会に補助金を交付する	◎	津市における戦時下の暮らしや空襲の被害等について、写真や模型などの展示や空襲体験談、高校生による取組み発表等を通じて市民に考えてもらう機会となった戦争展の開催を支援することができた。来場者数(1,029名)が前年度(1,041名)に引き続き、1,000名を超えることができた。
	誰		津平和のための戦争展実行委員会	◇ 参加者数	◎		
	何		市民の平和に対する意識の高揚を図るための事業	450 (千円)	現状維持		
121-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
121-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和6年度分)

121-5			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
121-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
121-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
121-8			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	A	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

